

<p>山梨県におけるカワウのねぐら・集団繁殖地の環境条件</p> <p style="text-align: center;">谷沢弘将・小澤 諒</p> <p>過去山梨県下で確認されたカワウのねぐら・集団繁殖地（コロニー）の環境条件について分析を行った。ねぐらは人間活動に近い場所でも多く形成された。同じ場所に複数回ねぐらを形成したことから、1回ねぐらとしたところに強い執着心を持つことが明らかとなった。コロニーが形成される時期は3月が多く、昨年初めてコロニーができた地点、過去にコロニーができた地点、サギ類のねぐら・コロニーがある地点に形成される傾向があると考えられた。</p>	<p>富士川水系金川におけるブラウントラウト駆除の効果</p> <p style="text-align: center;">谷沢弘将・大浜秀規・小澤諒・坪井潤一・長谷川功</p> <p>富士川水系金川にてブラウントラウトの駆除とその効果測定を行った。2012, 2013, 2014年にそれぞれ183尾,230尾,286尾のブラウントラウトを駆除した。上流区では駆除による減少がみられたが、中流区ではみられなかった。中流区は駆除圧を上げる必要があると考えられた。金川ではブラウントラウトメスの成熟は1+から始まっている可能性が示唆された。また、駆除により交雑魚の出現数を増加させている可能性が考えられた。</p>
<p>荒川ダム貯水池における環境と魚類相</p> <p style="text-align: center;">小澤 諒・大浜秀規・青柳敏裕・谷沢弘将</p> <p>荒川ダム貯水池において環境および魚類相調査を行った。環境調査では、過去の調査と比較して透明度が低下したが、その要因として表層のChl.a量の増加が考えられた。一方、刺網による採捕魚はいずれも過去の調査でみられなかった種であった。さらに過去に数多く採捕されたオオクチバスは採捕されなかった。荒川ダム貯水池の減水期とオオクチバスの産卵期が一致し、個体数が減少したことにより魚類相が変化した可能性が考えられた。</p>	